

平成28年度
全日本学生柔道優勝大会
(男子65回 女子25回)

監督会議

資料集

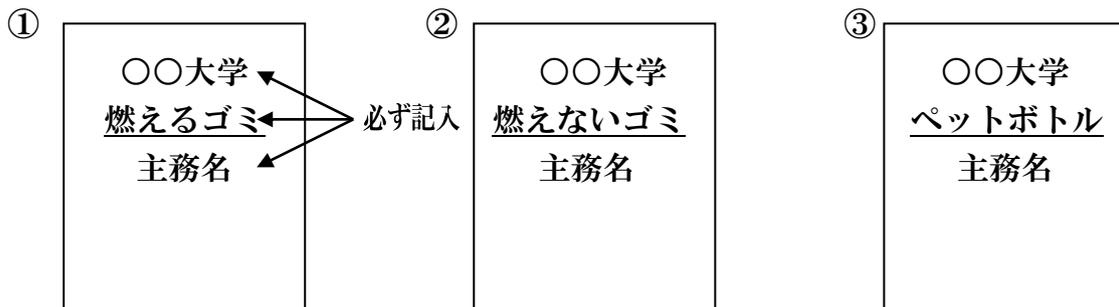
6月24日(金)17:30~
講道館新館2階教室

平成 28 年度 全日本学生柔道優勝大会 (男子 65 回 女子 25 回)

ゴミ処理・雑巾・ペットボトルについて

【ゴミ処理】

- 以下のゴミ袋を各 1 枚以上必ず用意し、大会当日朝の受付時に必ず提示すること。



※ゴミを多く出す大学、特に人数が多い大学は多めに用意すること。

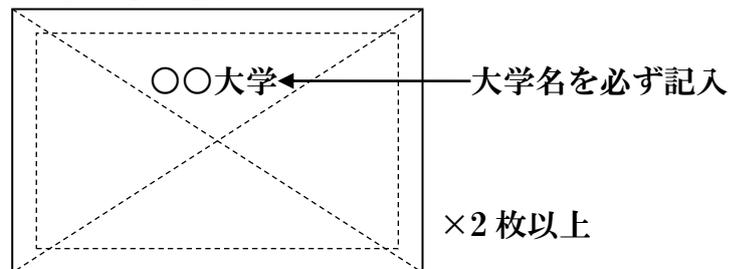
※武道館外から持ち込んだ弁当や飲料は必ずこの用意したゴミ袋に入れて持ち帰ること。

その他のゴミについても、極力武道館のゴミ箱に捨てず、持ち帰ること。

※途中の駅やコンビニで捨てる等のマナーに反した行為は決してしないこと。

【雑巾】

- 以下の雑巾を 2 枚以上必ず用意すること。



※試合・練習で足が汚れた場合、この雑巾で必ず拭くこと。

【ペットボトル】

- 武道館外からペットボトルを持ち込む場合は、必ず大学名を記入すること。

水滴などで記入が消えるため、テープなどを貼って上から記入することが望ましい。

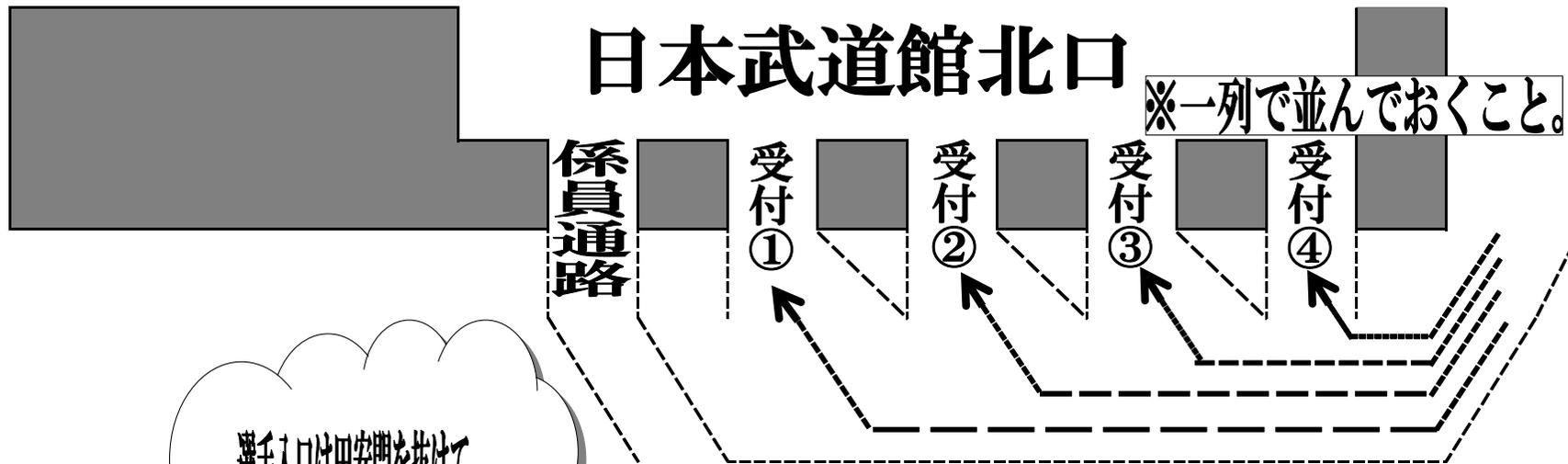
※本大会は大塚製薬に協賛をいただいている関係で、大塚製薬以外の飲料を会場内に持ち込む際は、ラベルをはがすこと。

(例)



日本武道館北口

※一列で並んでおくこと。



駐車場

選手入口は田安門を抜けて
すぐ左の北口とする。
よく確認し間違えないようにすること。

武道館職員、関係者の車が通るので
事務棟付近まで広がらないようにすること。

至
田安門

階段

事務棟

●北口受付 入場振分一覧●

※当日自分の大学の入口を間違えないよう注意すること。

入口①	入口②	入口③	入口④
東京地区	関東地区	東北地区	北海道地区
	東海地区	中国四国地区	北信越地区
		九州地区	関西地区
ピンク	黄色	青色	緑色

※男子・女子3人制ともに出場する大学は、
必ず男女が揃って受付すること

平成28年度
全日本学生柔道優勝大会(男子65回 女子25回)
オーダー用紙

■ 大学名: 東京学芸大学
■ 大学番号: 101
■ 監督サイン: 石川 雅志

・大学名
・大学番号
・監督名
を記入して下さい。

■ 該当する項目に○印
■ 男子 女子3人制 女子5人制

・カテゴリー
白・青 を○で囲んで下さい。

■ 白 青

■ 試合番号: 1-1

・試合番号
を記入してください。

■ 選手名

	選手番号	氏名
先鋒	12	浅野 怜央
次鋒	5	室家 怜央
五将	6	三浦 惠梨佳
中堅	3	真露 三留
三将	11	神崎 孝仁
副将	4	伊奈 彩乃
大将	1	出水 友哉

・選手番号
・選手名
を記入して下さい。

※選手番号と氏名が異なっている場合は氏名を反映させます。

※女子3人制--先鋒-中堅-大将
女子5人制--先鋒-次鋒-中堅-副将-大将
の順番で記入

※記入漏れがある場合は受理できません。

【重要】
選手番号と選手名が
異なる場合は
選手名を優先して扱います。

大学番号はお配りした青色封筒の表紙に記載しております。
ご確認ください。

オーダー提出の流れ

①初戦オーダー用紙提出について

初戦の対戦校が確定している大学は8:20までに
アリーナ南西のオーダー受付まで提出してください。

②2回戦以降のオーダー提出について

次回対戦校が決定する試合が終了し、
審判員が試合場を降りた時点で7分間の計測を
オーダー受付ブースにて開始します。

オーダー提出の流れ

試合終了

審判員の退場

タイマー計測開始(7分間カウントダウン)

※オーダー受付ブースにあるモニターで確認できます

5分経過

アナウンスにて呼び出し

1分経過

アナウンスにて呼び出し

1分経過

前回試合オーダーでの対戦が決定

※モニター表示が『0:00』となった時点で確定します

【注意】

オーダーに変更がない場合でも用紙は必ず提出してください

開会式 並び順

北海道地区

東北地区

北信越地区

筑波大学(男子昨年度優勝校)

山梨学院大学(女子5人制昨年度優勝校)

鹿屋体育大学(女子3人制昨年度優勝校)

東京地区

東海地区

関東地区

関西地区

中国四国地区

九州地区

平成 28 年度全日本学生柔道優勝大会（男子 65 回 女子 25 回）
安全対策について

大会選手の怪我等についての対策として大会試合場内にドクターが待機しております。万が一怪我をされた場合には必ず救護席までお越してください。

救護席にて治療を受けた後、病院へ通院することになりましたら傷害保険も加入しておりますので、別紙のとおり保険会社へ連絡をして下さい。

またそれと同時に当連盟への連絡も必要となります。下記の項目を記入のうえ、FAX またはメールにて連絡ください。

1. 事故発生日時

平成 28 年 6 月 25 日（土） 午前 午後 時 分頃
平成 28 年 6 月 26 日（日） 午前 午後 時 分頃

2. 受傷者について

住所 〒 _____

氏名 _____ 地区 _____ 大学 _____

携帯番号 _____ 年齢 _____ 才

生年月日 昭・平 _____ 年 _____ 月 _____ 日 男 ・ 女

負傷の程度 例：内側側副靭帯損傷全治 2 ヶ月（ドクターに言われたことを記入）

事故発生状況 例：柔道の大会中相手に体落として投げられた際、膝を捻り受傷。

報告先：東京学生柔道連盟 TEL03-3213-7106 FAX03-3287-3282
E-mail office@tokyojudo.gr.jp

平成 28 年 6 月 吉日

大会参加者 各位

三井住友海上火災保険株式会社
上級代理店
株式会社日本総合コンサルタント
金井 義明
TEL 03-3633-5533
携帯 090-3246-6696

平成 28 年度大会参加者事故報告の件

拝啓 新緑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記のことに就きまして、万一の事故の際の報告内容等下記ルールに従ってお願い申し上げます。

敬具

記

- 1、事故発生日時・大会名・大学名・氏名・受傷箇所を東京学生柔道連盟へ報告します。
その後下記を参考に三井住友海上傷害事故受付センターへ連絡をします。
- 2、東京学生柔道連盟より三井住友海上火災保険株式会社事故受付センターへメールします。
- 3、三井住友海上火災保険株式会社事故受付センターよりケガをされた学生に書類を送付。
- 4、ケガが完治後保険を請求します。

以上

傷害事故が起きた場合

三井住友海上傷害事故受付センターに連絡して下さい。

(TEL 0120-258-189)

下記の要領でご連絡願います。

「東京学生柔道連盟の大会で受傷した〇〇□□です」

証券番号 C302920509 ○月○日の試合中転倒し、肩を脱臼したので保険金請求書を送ってほしい。」

おケガが完治してから保険金請求書を三井住友海上宛郵送して下さい。

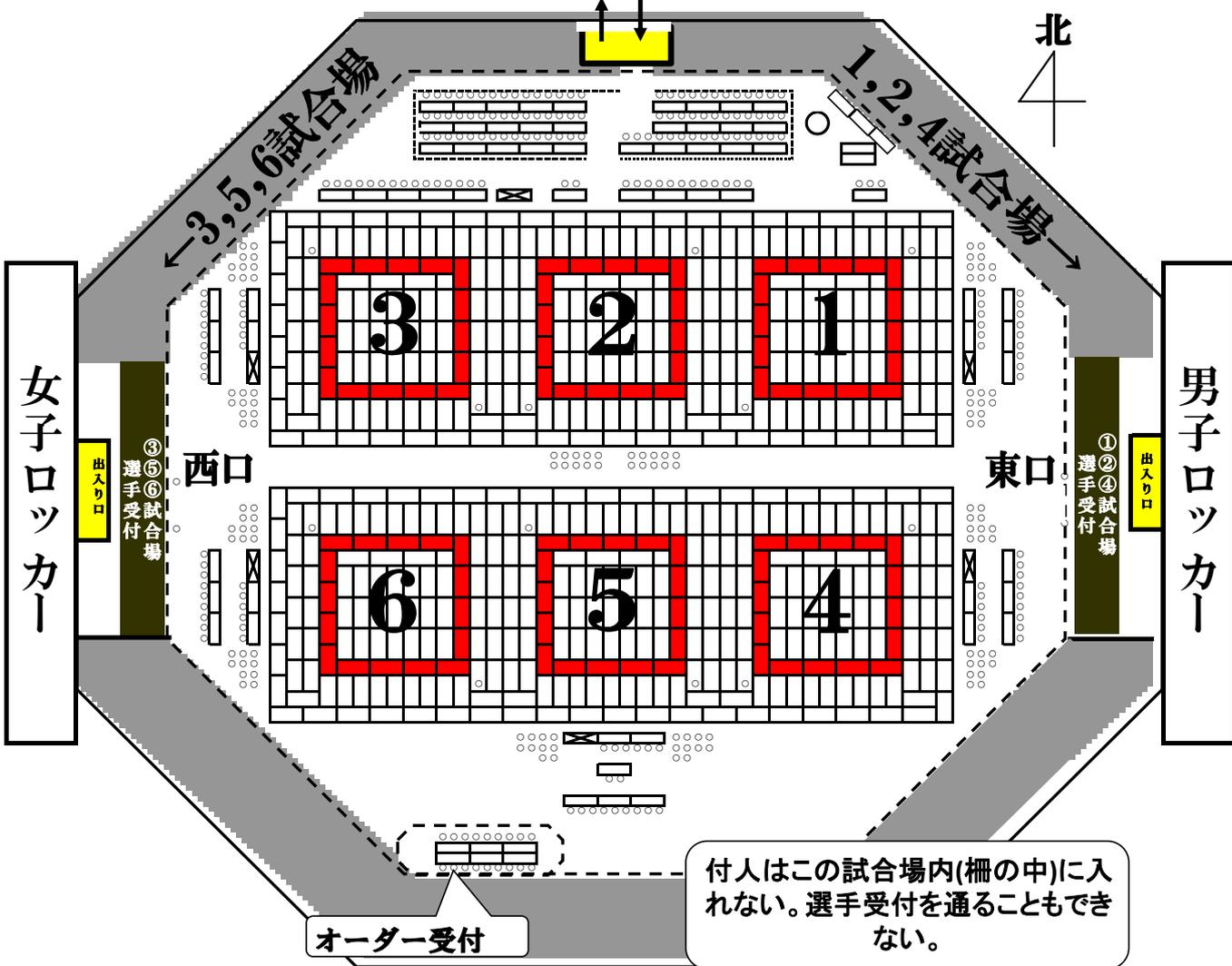
郵送先は保険金請求書と同封の返信用封筒をご利用下さい。

本状は大切に保管してください。万一の時、必ずお役に立ちます。

お問い合わせ先：三井住友海上火災保険株式会社
代理店株式会社日本総合コンサルタント
担当金井 TEL 03-3633-5533
FAX 03-3633-5612

アリーナ階北口

…ID所持者は、アリーナへはここから出入りすること。



グレー部分 …この色の部分は、ID所持者のみ入場可能である。

①②③ ④⑤⑥ 選手受付 …前の試合の大將戦開始後、受付で係員に選手IDを預け、待機席にて待機する。柵の内側へ付人が入ることはできない。

黄色部分 出入り口 …今年度よりこの色部分(東西口)を開放する。北口同様、IDチェックを必ず行う。また、青道着替専用としての出入り口とする。

平成28年度 全日本学生柔道優勝大会（男子65回 女子25回）

柔道衣・ゼッケン・紅白紐について

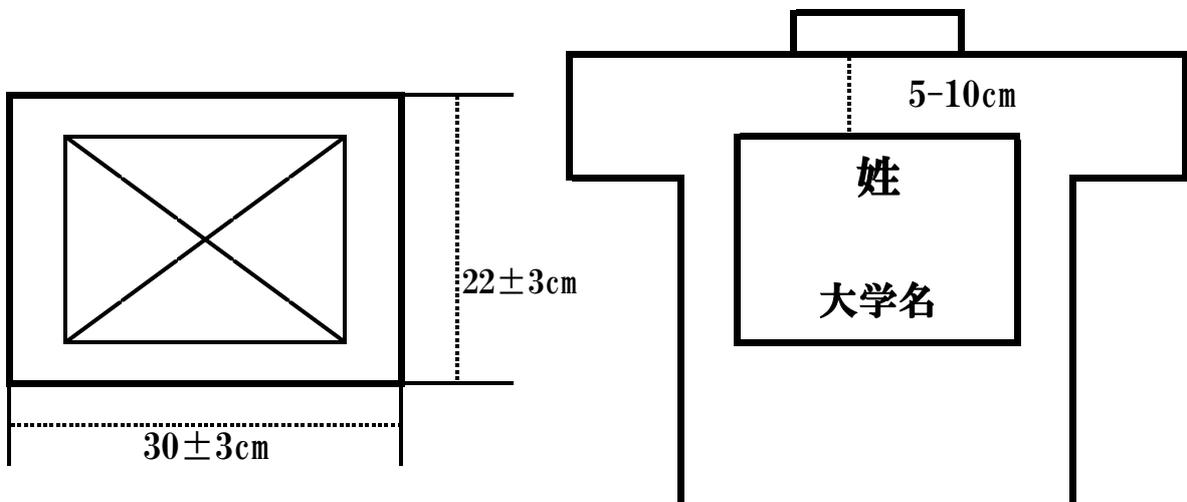
【柔道衣について】

- ① 青柔道衣、白またはクリーム色の道衣を着用すること。
- ② 登録している大学以外の柔道衣での試合出場は禁止。
- ③ 無地の柔道衣は可。

【ゼッケンについて】

本大会において着用するゼッケンは、以下のものとする。以下のものに適合したゼッケンを着用していない場合は、出場を認めない場合もある。

- ① サイズは、 $30(\pm 3)$ cm \times $22(\pm 3)$ cm。
- ② 布地は白地の晒、太綾。
- ③ 文字の色は男子は黒、女子は赤。
- ④ 縫い付けの場所は、後襟から5~10cm下方
- ⑤ 縫い付けは、周囲のみでなく対角線にも行う。
- ⑥ ゼッケンへの記載は苗字を上部2/3、所属を下部1/3にする。



企業ゼッケンを必ず着用すること。

男子：ビックカメラ、女子：ALSOK

イエローカード・レッドカードの取り扱い（マナー委員設置）について

2016.5.26

1. マナー委員の役割

目的：試合時のコーチ席にいる対象者に対して、言動及び態度・振る舞いに関して不適切な場合に適切に対応する。円滑な試合運営及び指導者・選手として相応しいコーチングに寄与することを目的とする。

2. 添付資料に基づいて、これに違反した者を対象に適宜指導する。

①不適切な言動及び態度・振る舞いが確認された場合、直ちにマナー委員が該当者に対し、口頭で説明し、改めるように指導する。

②その際、その指導がイエローカードもしくはレッドカードになることを該当者に伝える。

③対戦終了時(※1)にマナー委員は直ちに主審に進言することとする。

主審は片方の手で、当該開始線を指差し、もう片方の手でイエローカードもしくはレッドカードを頭上に高く掲げ、よく見えるように表示する。

3. 試合場の記録係は、記録用紙に回数を記録し、当該試合(※2)が終了するまで、累積をカウントする。このカウントは、イエローカード2回でレッドカードと同等となる。

4. レッドカードを与えた場合、主審は、当該大学の監督に退席するように指示をする。

レッドカード1回を与えられた当該大学の監督は、コーチ席から退席しなければならないが、次の試合には入場することができる。

このとき、対戦中の場合は、次の対戦の前にその指示を与えることとする（次の対戦とは、レッドカードが中堅対戦中に示された場合は、大将戦、副将戦もしくは三将戦前を指す）。

5. 当該大会期間中にレッドカードを2回与えられた監督は、1階アリーナには入場できない。

6. 添付資料、コーチの振るまいの罰則の適用は、全日本学生柔道連盟では用いないこととする。

(※1) 対戦・・・チーム内の個人での戦いを表す（中堅戦など）

(※2) 試合・・・チーム全体の戦いを表す

団体戦の試合場における指導者の振る舞いについて

指導者の役割

1. 指導者は、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
2. 指導者は、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

指導者の場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、部長、監督、コーチの3名のみ入ることが許され、指定された椅子に着席しなければならない。

指導者の言動

1. 試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
2. 次の行為を禁止する。
 - (ア) 試合中、意図的に立ち上がったたり大声をだしたりするなど、選手や審判員に対し威圧的な態度や言動をすること。
 - (イ) 審判員の判定に対しコメントや批判、或いは訂正などを要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するような行為や言動をすること。
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
 - (オ) その他、柔道精神に反する行為
3. 原則として、コーチは審判員に準じた服装とし、IDカードを付けるものとする。

罰則

上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

1. 違反1回目が認められた場合は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員（ジュリー含む）が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで指導者を試合場フロアの外へ退去させる（大会本部にペナルティエリアを設ける）。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合からは、コーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

以上

団体戦の試合場における登録選手及び主務の応援方法について

場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、登録選手のみ入ることが許され、試合者以外は指定された椅子に着席しなければならない。

言動

1. 対戦中の自軍の選手に対してのみ試合上の指示や応援、戦術的アドバイスなどをおこなうことが出来る。
2. 次の行為を禁止する。
 - (ア) 試合中、意図的に立ち上がったたり大声をだしたりするなど、選手や審判員に対し威圧的な態度や言動をすること。
 - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するよう行為
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
 - (オ) その他、柔道精神に反する行為

罰則

上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

1. 違反1回目が認められた場合は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員（ジュリー含む）が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで「指導者」を試合場フロアの外へ退去させる（大会本部にペナルティエリアを設ける）。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合についても、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止（試合出場不可）する場合もある。

補足

1. 大会の観戦者（アリーナ枠外、観客席）についても上記「言動」

以下は同様の扱いとする。

参考

脳振盪の対応について

平成 24 年 4 月 1 日
公益財団法人全日本柔道連盟

ジュニア以下の大会要項に下記条項を追加する

選手および指導者は下記事項を遵守すること

1. 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
2. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。)
3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

以上